

さくら号の市街地間の運行について

近年、さくら号による五泉－村松市街地間の運行を望む声（特に村松市街地から五泉市街地に位置する医療機関への接続）が出ており、今後の方向性を決めるために議事として諮ります。

1. 五泉市の公共交通の現状（平成 22 年～現在）

市街地間を運行するふれあいバスと、市街地－郊外間を運行するさくら号との乗継により市内全域の移動を可能としている。

2. 市街地間運行をするメリット

- 1) さくら号利用者の利便性向上や利用者数増加が見込める

3. 市街地間運行のための課題

- 1) 運行エリアの市内全域化への変更（運行体制・ルールの見直し）
- 2) さくら号運行経費の増加（車両増・受付体制拡大など）
- 3) ふれあいバスの利用者数減少への対応（運行経費増・補助額減など）
- 4) 各種経費増に伴う運賃値上げの検討

4. 市民アンケートの結果

◆総合計画市民アンケート（令和 3 年 1 月実施）

- ・公共交通機関の利便性向上について 満足している 25.1% 不満がある 29.7%

◆公共交通市民・利用者アンケート（令和元年 6 月実施）

アンケート項目	市民アンケート結果	利用者アンケート結果
(ふれあいバス)最も行ってもよい見直し	運行時間の短縮 25% 運賃の増額 24%	運賃の増額 32% 運行ルートの減少 22%
(ふれあいバス)最も行ってもほしくない見直し	運賃の増額 36% 乗換の追加 19%	運賃の増額 31% 運行回数の減少 30%
(さくら号)最も行ってもよい見直し	運賃の増額 38% 運行日の減少 27%	運賃の増額 39% 運行日の減少 22%
(さくら号)最も行ってもほしくない見直し	運賃の増額 38% 運行日の減少 19%	運賃の増額 40% 運行日の減少 27%
(さくら号)改善を希望する点(3つ選択)	—	運行日増 42% 予約電話の接続 37% 予約枠拡大 36% エリア外運行 30%
公共交通の望ましい方向性について	現状維持 33% 拡充 23% わからない 22% 減便・廃止 20%	現状維持 50% 拡充 30% わからない 11% 減便・廃止 8%
公共交通財政負担の望ましい方向性について	経費増加抑制 48% わからない 26% 利用者負担増 16% 市財政負担増 8%	経費増加抑制 42% わからない 17% 利用者負担増 20% 市財政負担増 19%